

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

2015年3月期 連結決算概況 2016年3月期 通期見通し

2015年5月8日
オリンパス株式会社
取締役専務執行役員
経営統括室長 CFO
竹内 康雄

2015年3月期実績 連結業績概況

- ① 医療事業が全社業績を牽引し、営業利益・経常利益はリーマンショック以降、過去最高額
- ② 米国司法省との協議の進捗を受け、損失引当金約539億円を計上し、当期純損失は△87億円
- ③ 財務的課題に一定の目処がついたことにより、4期ぶりに配当を再開

通期実績

(単位：億円)	2014/3	2015/3	増減額	前期比	2015/3 (期初予想)	差異 (増減額)
売上高	7,133	7,647	+514	+7%	7,600	+47
営業利益 (営業利益率)	734 (10.3%)	910 (11.9%)	+175 (+1.6pt)	+24%	880 (11.6%)	+30
経常利益 (経常利益率)	509 (7.1%)	728 (9.5%)	+219 (+2.4pt)	+43%	700 (9.2%)	+28
当期純損益 (当期純利益率)	136 (1.9%)	△87 (-)	△224 (-)	-	450 (5.9%)	△537
円/US\$	100円	110円	10円 (円安)			
円/Euro	134円	139円	4円 (円安)			
売上高への影響額	-	+394億円				
営業利益への影響額	-	+144億円				

2015年3月期実績 セグメント別概況

- ① 医療は好調に推移し、売上高・営業利益共に年間・四半期ベースで過去最高を更新
- ② 科学は産業分野の好業績により、その他はバイオロジクス事業からの撤退により大幅増益
- ③ 映像はB to B投資、コンパクトの縮小、円安影響、ミラーレスの評価減等により減収、減益

(単位：億円)		通期実績				4Q実績 (1-3月期)			
		2014/3	2015/3	増減額	前期比	2014/3	2015/3	増減額	前年同期比
医療	売上高	4,923	5,583	+661	+13%	1,408	1,602	+194	+14%
	営業利益	1,127	1,249	+122	+11%	341	409	+67	+20%
科学	売上高	985	1,039	+54	+6%	309	311	+2	+1%
	営業利益	49	68	+19	+39%	29	33	+4	+14%
映像	売上高	961	838	△ 123	△ 13%	211	195	△ 16	△ 8%
	営業利益	△ 92	△ 139	△ 47	-	△ 48	△ 77	△ 29	-
その他	売上高	264	186	△ 78	△ 29%	68	38	△ 30	△ 44%
	営業利益	△ 54	12	+65	-	△ 10	3	+13	-
全社・消去	売上高	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	△ 297	△ 281	+16	-	△ 77	△ 79	△ 2	-
連結合計	売上高	7,133	7,647	+514	+7%	1,996	2,147	+150	+8%
	営業利益	734	910	+175	+24%	235	289	+53	+23%

2015年3月期 映像事業 4Q実績（1-3月期・計画比）

ミラーレスの売上高大幅未達が要因

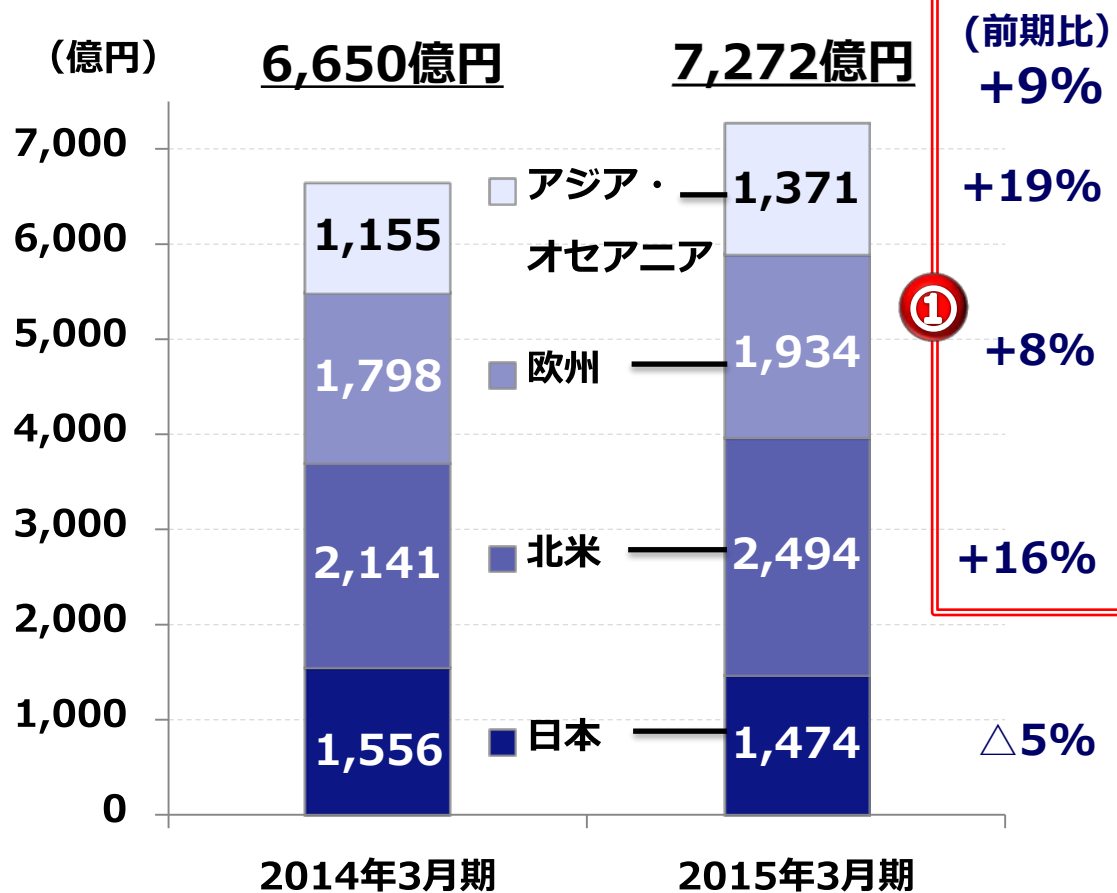
- ① ミラーレスの実売単価が想定単価を大きく下回り、売上未達、粗利減少
- ② ミラーレス普及モデル（PEN）を中心に評価減
- ③ ミラーレス拡販のため、販管費を投資

(単位：億円)	2015年3月期（1-3月）		増減額
	3Q時計画	実績	
売上高	257	195	△ 62
┌ ミラーレス	177	127	△ 50
└ コンパクト・その他	80	68	△ 12
売上総利益	123	45	△ 78
販管費	136	122	△ 14
営業損益	△ 13	△ 77	△ 64

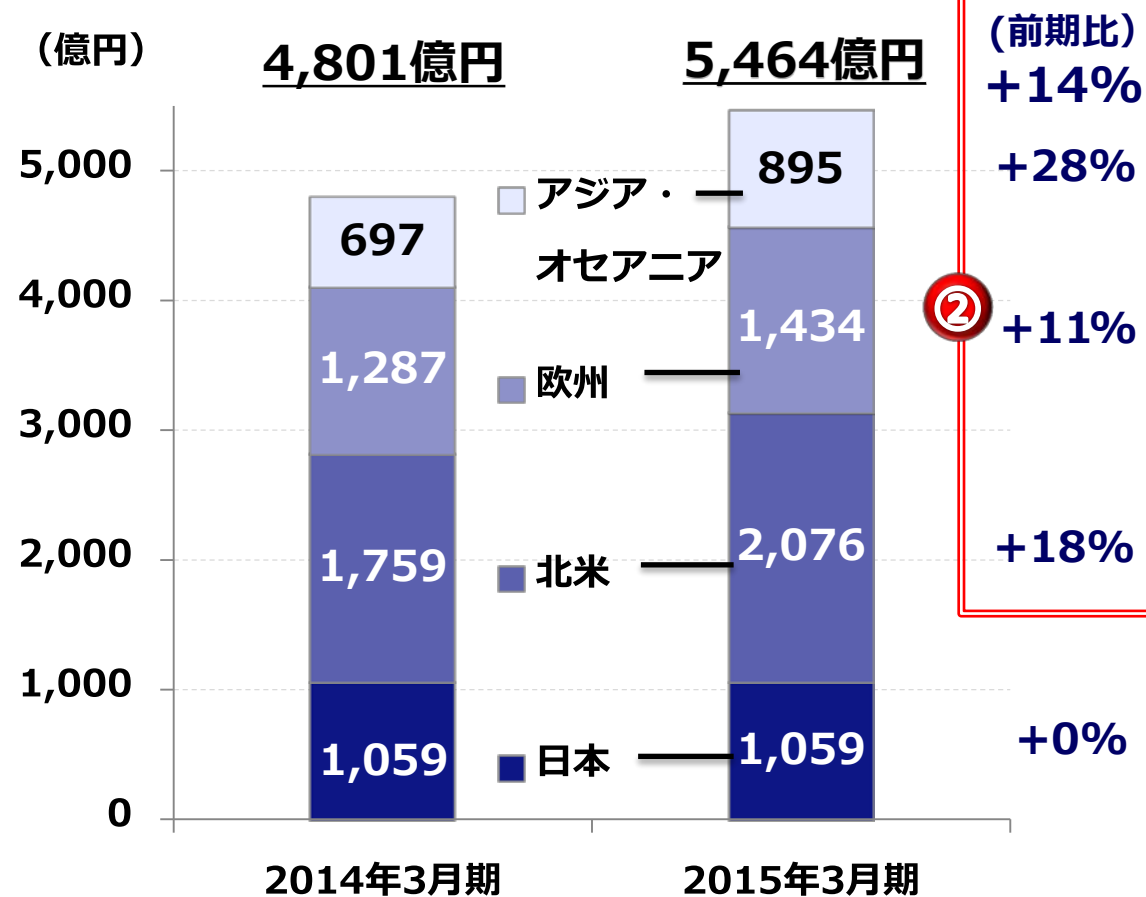
2015年3月期実績 地域別売上高

- ① 連結：医療事業が牽引し、日本を除く全地域で増収
- ② 医療：海外ビジネスが好調に推移し、日本を除く全地域で二桁増収

連結（4-3月）（※）



医療（4-3月）



貸借対照表 (2015年3月末)

- ① 自己資本比率は32.9%、有利子負債は約614億円圧縮
- ② 課題のデジカメ在庫は、2014年12月末比で △55億円減少

(単位：億円)	2014年 3月末	2015年 3月末	増減額		2014年 3月末	2015年 3月末	増減額
流動資産 (デジカメ在庫)	5,765 (217)	5,775 (237)	+10 (+20)	流動負債	2,763	3,748	+985
有形固定資産	1,354	1,501	+147	固定負債 (内：社債・長期借入金)	4,199 (3,468)	3,495 (2,533)	△704 (△935)
無形固定資産	1,736	1,806	+71	純資産	3,313	3,573	+260
投資その他資産	1,420	1,732	+313	(自己資本比率)	(32.1%)	(32.9%)	(+0.8pt)
資産合計	10,275	10,816	+541	負債 純資産 合計	10,275	10,816	+541

2014年12月末
デジカメ在庫 : 292億円

① 有利子負債 : 3,544億円 (2014年3月末比 △ 614億円)
純有利子負債 : 1,445億円 (2014年3月末比 △ 192億円)

キャッシュフローの状況（2014年4月～2015年3月）

(単位：億円)	2014年3月期	2015年3月期	増減
売上高	7,133	7,647	+514
営業利益	734	910	+175
(%)	10.3%	11.9%	+1.6pt
営業CF	724	668	△ 56
投資CF	△ 203	△ 396	△ 193
財務CF	△ 397	△ 702	△ 305
キャッシュフロー	124	△ 430	△ 554
フリーキャッシュフロー	521	272	△ 249
現金及び現金同等物期末残高	2,513	2,098	△ 415
減価償却費	369	412	+44
のれん償却額	95	94	△ 0
設備投資額	326	427	+101

2016年3月期 通期見通し

2016年3月期 連結業績見通し

- ① **売上高** : 2桁成長を見込む医療事業が牽引し、前期比+6%の8,100億円
- ② **営業利益** : 8期ぶりに1,000億円を超える見通し
- ③ **当期純利益** : 営業外収支及び特別損益の改善により、過去最高となる560億円を見込む

(単位：億円)	2015/3 (実績)	2016/3 (見通し)	増減額	前期比
売上高	7,647	8,100	+453	+6%
営業利益 (営業利益率)	910 (11.9%)	1,000 (12.4%)	+90 (+0.5pt)	+10%
営業外収支	△182	△140	+42	-
経常利益 (経常利益率)	728 (9.5%)	860 (10.6%)	+132 (+1.1pt)	+18%
当期純損益 (当期純利益率)	△87 (-)	560 (6.9%)	+647 (-)	-
円/US\$	110円	115円	5円 (円安)	
円/Euro	139円	130円	9円 (円高)	
売上高への影響額	-	△6億円		
営業利益への影響額	-	+1億円		

2016年3月期 セグメント別業績見通し

- ① 医療事業は過去最高の売上高6,150億円、営業利益1,370億円を見込む
- ② 映像事業は経営資源を絞り事業運営
映像事業の経営資源を新事業領域、全社R&D領域へ再配分

		(単位：億円)	2015/3 (実績)	2016/3 (見通し)	増減額	前期比
医療	売上高		5,583	① 6,150	+567	+10%
	営業利益		1,249	1,370	+121	+10%
科学	売上高		1,039	1,100	+61	+6%
	営業利益		68	80	+12	+18%
映像	売上高		838	700	△ 138	△ 17%
	営業利益		△ 139	0	+139	-%
その他 (新事業)	売上高		186	150	△ 36	△ 20%
	営業利益		12	△ 120	△ 132	-%
全社・消去	売上高		-	-	-	-%
	営業利益		△ 281	△ 330	△ 49	-%
合計	売上高		7,647	8,100	+453	+6%
	営業利益		910	1,000	+90	+10%

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

2015年度 経営方針

2015年5月8日
オリンパス株式会社
代表取締役社長執行役員
笹 宏行

中期ビジョン（中期経営計画）3年間の振り返り

適切なガバナンス体制の構築

社外取締役が半数を占める取締役会、監督と執行を分離した経営体制など、適切なガバナンスの下で着実に施策を遂行

非事業ドメインの整理

情報通信事業の売却、バイオロジクス事業からの撤退等、計画を上回るスピードで非事業ドメインの整理を完遂

医療事業の好業績

医療事業が好調を維持し、3期連続で増収・増益、2期連続で過去最高の売上高、営業利益を達成

財務体質の強化

自己資本比率が30%以上に回復
リスク要因の減少により、4期ぶりに配当を再開

2015年3月期 評価指標の実績

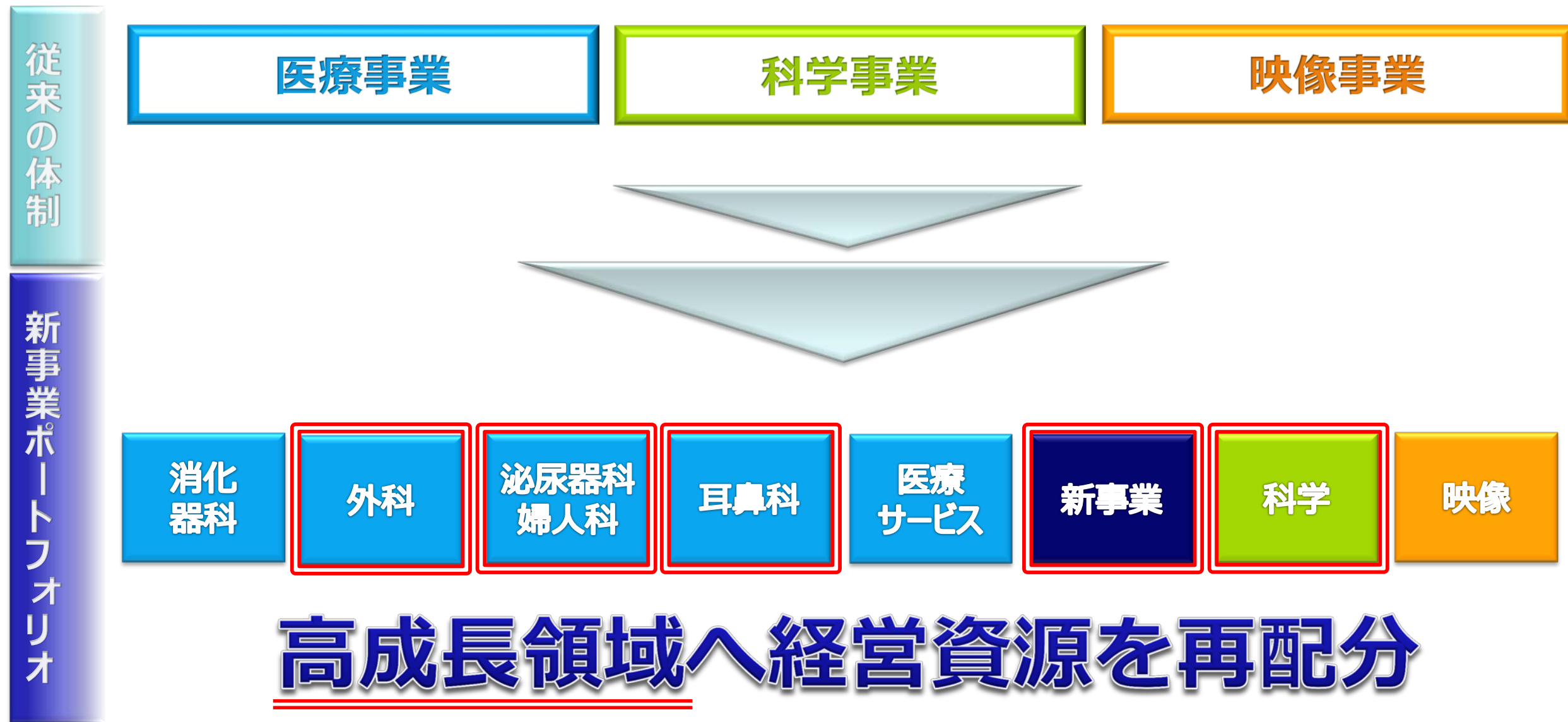
- ① 投下資本利益率 (ROIC) : 8%の水準まで回復
- ② 営業利益率・自己資本比率 : 2017年3月期目標水準を超えて向上

	2012年3月期 (実績)	2015年3月期 (実績)	2017年3月期 (目標水準)
投下資本利益率 ^(※) (ROIC)	2.7%	① 8%	10%以上
営業利益率	4.2%	② 11.9%	10%以上
フリーキャッシュフロー (営業CF+投資CF)	△ 48億円	272億円	700億円以上
自己資本比率	4.6%	② 32.9%	30%以上

高成長領域へ経営資源を再配分

1. 医療事業の拡大 / 戦略投資の成果
2. 映像事業から成長領域へ経営資源を再配分

経営リソースの再配分



高成長領域へ経営資源を再配分

映像技術領域

映像事業で培われた技術を活かし、ソリューションを提供

- 製造市場
- 自動車市場 等

医療領域

医療事業と親和性の高い分野のインキュベーションを図る

- 整形外科領域
- 再生医療領域 等

1. 成長性

2. 効率性

3. 健全性

1. 成長性

医療

5分野を軸に更なる強化 / 外科分野における成長加速

新事業領域

事業機会の探索・検討による新規事業の開発

販売

事業横断的な販売力強化により、強い技術と製品を訴求

2. 効率性

医療・科学・映像

資産の効率活用と事業環境に
対応した戦略遂行により収益性向上

技術・製造

事業横断的にリソースを適正配分

財務

資本の効率的な活用により、高いROEの実現

3. 健全性

財務

医療機器メーカーとしての健全な資本水準

4期ぶりに配当を再開

配当案	年間
2015年3月期	10円
2016年3月期	17円

< 資本配分の基本方針 >

1. 医療事業を中心に成長投資を優先
2. 医療企業の事業特性に合わせた資本水準

OLYMPUS

A thick yellow horizontal line that tapers at both ends, positioned directly beneath the word "OLYMPUS".

参考資料

【参考資料】2016年3月期 連結業績見通し（上期／下期）

(単位：億円)	2015年3月期 (実績)		2016年3月期 (見通し)		前年同期比 (%)	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	3,550	4,097	3,900	4,200	+10%	+3%
営業利益 (営業利益率)	384 (10.8%)	525 (12.8%)	450 (11.5%)	550 (13.1%)	+17%	+5%
営業外収支	△ 88	△ 94	△ 80	△ 60	-	-
経常利益 (経常利益率)	297 (8.4%)	431 (10.5%)	370 (9.5%)	490 (11.7%)	+25%	+14%
当期純利益 (当期純利益率)	223 (6.3%)	△ 311 (-)	240 (6.2%)	320 (7.6%)	+8%	-

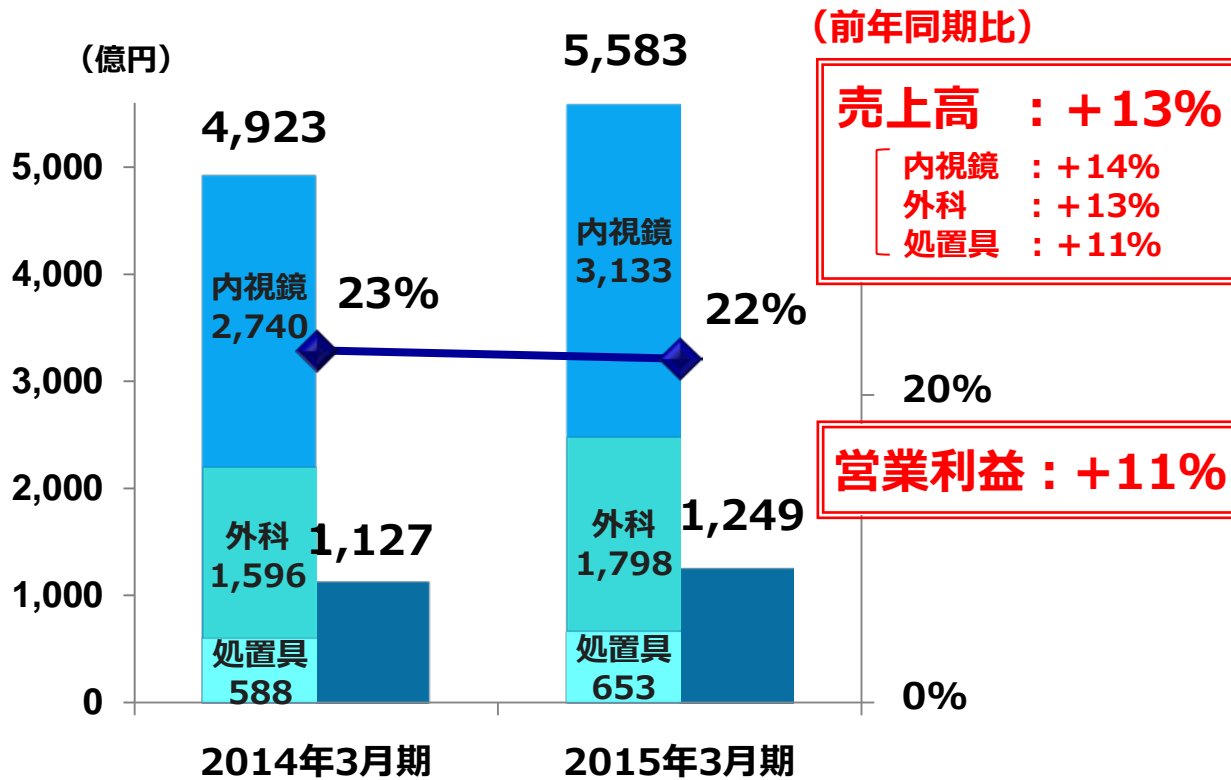
【参考資料】2016年3月期 セグメント別業績見通し（上期／下期）

(単位：億円)		2015年3月期（実績）		2016年3月期（見通し）		前年同期比（%）	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期
医療	売上高	2,568	3,016	2,980	3,170	+16%	+5%
	営業利益	546	703	650	720	+19%	+2%
科学	売上高	467	572	500	600	+7%	+5%
	営業利益	13	56	20	60	+54%	+7%
映像	売上高	401	437	350	350	△ 13%	△ 20%
	営業利益	△ 46	△ 93	0	0	-	-
その他	売上高	114	72	70	80	△ 39%	+11%
	営業利益	7	5	△ 65	△ 55	-	-
全社・消去	売上高	-	-	-	-	-	-
	営業利益	△ 136	△ 146	△ 155	△ 175	-	-
連結合計	売上高	3,550	4,097	3,900	4,200	+10%	+3%
	営業利益	384	525	450	550	+17%	+5%

【参考資料】 2015年3月期実績 医療事業

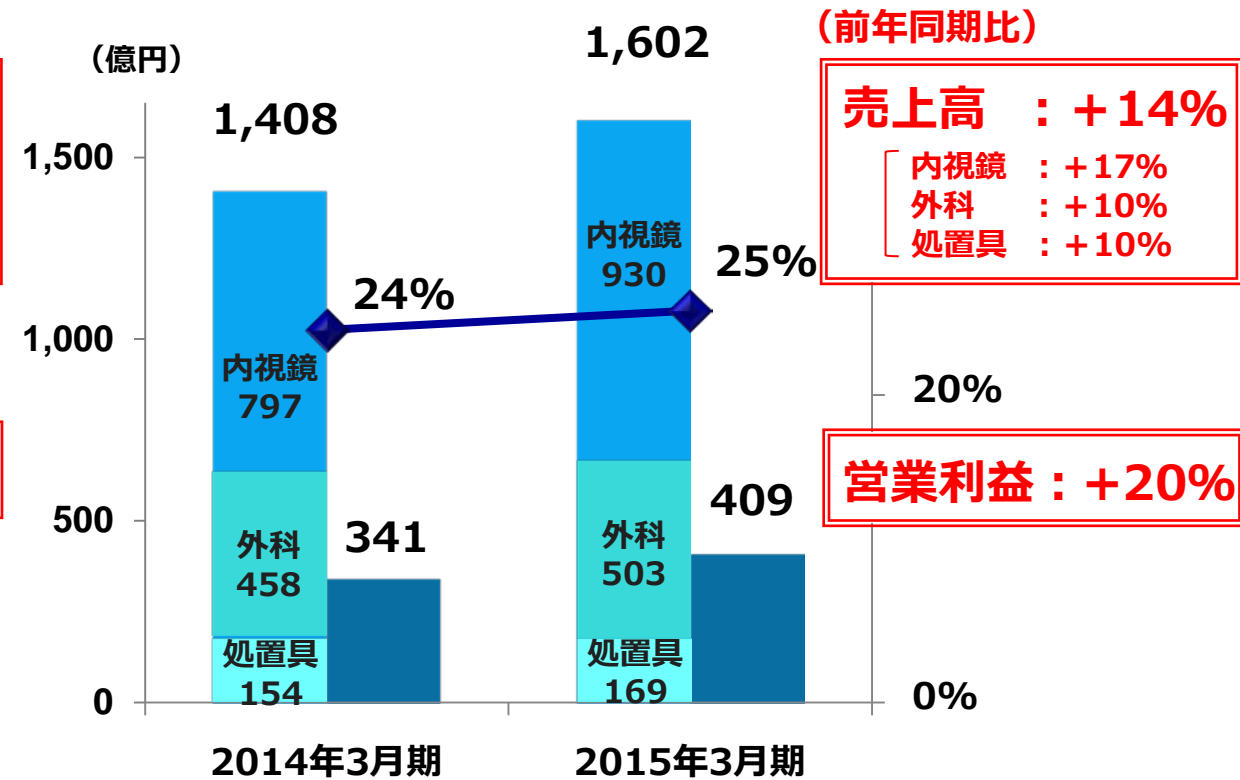
通期 (4-3月)

■ 売上高 ■ 営業利益 ◆ 営業利益率



4Q (1-3月)

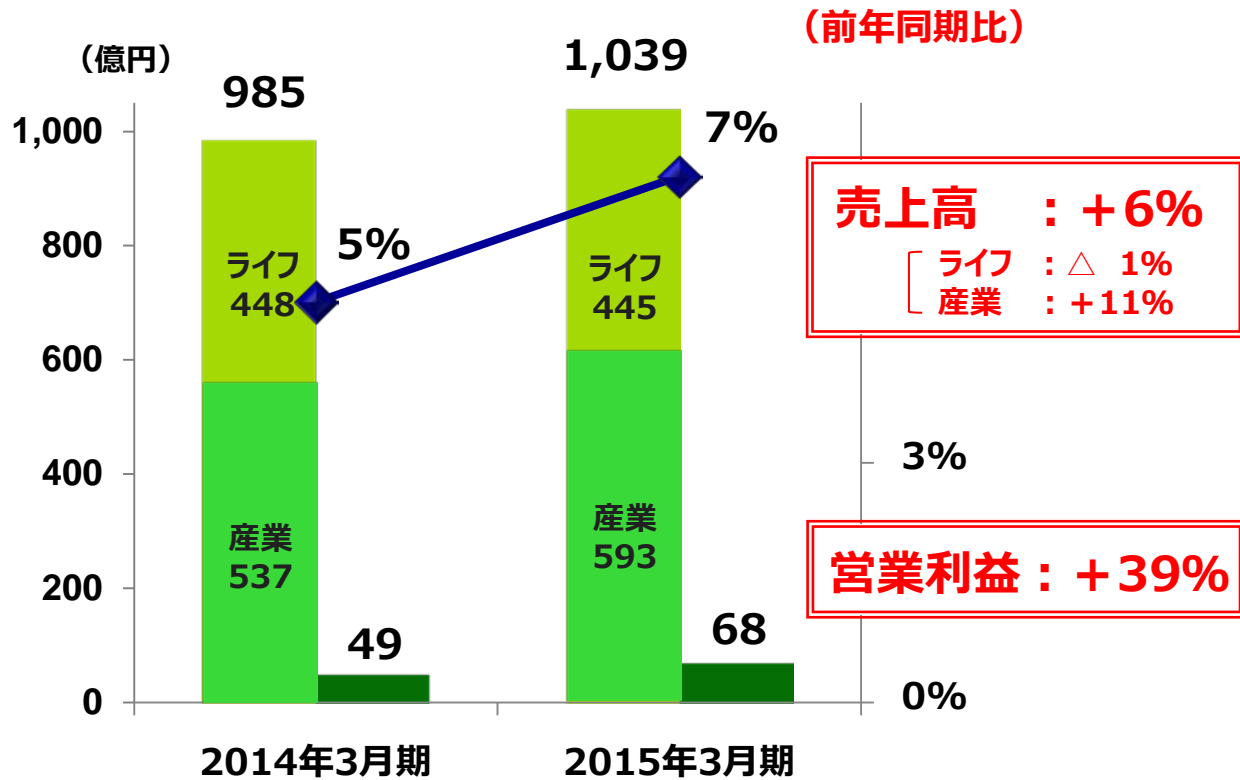
■ 売上高 ■ 営業利益 ◆ 営業利益率



【参考資料】 2015年3月期実績 科学事業

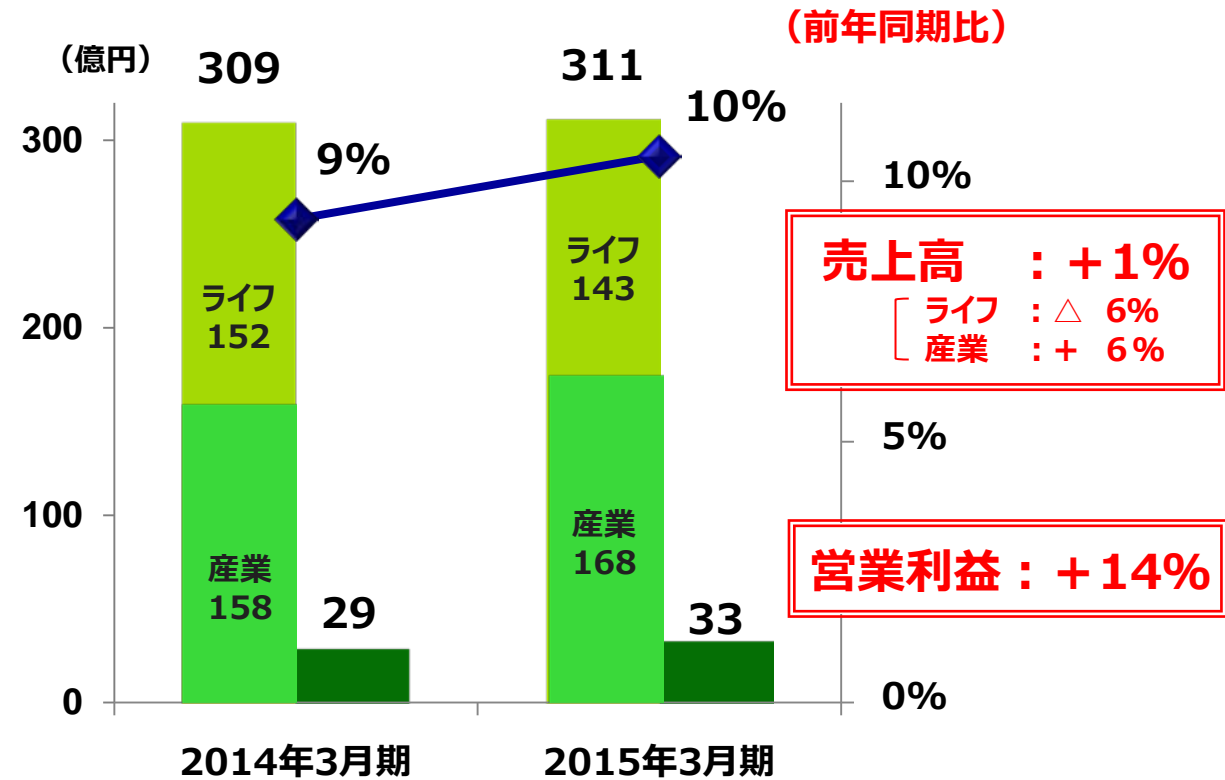
通期 (4-3月)

売上高 営業利益 営業利益率



4Q (1-3月)

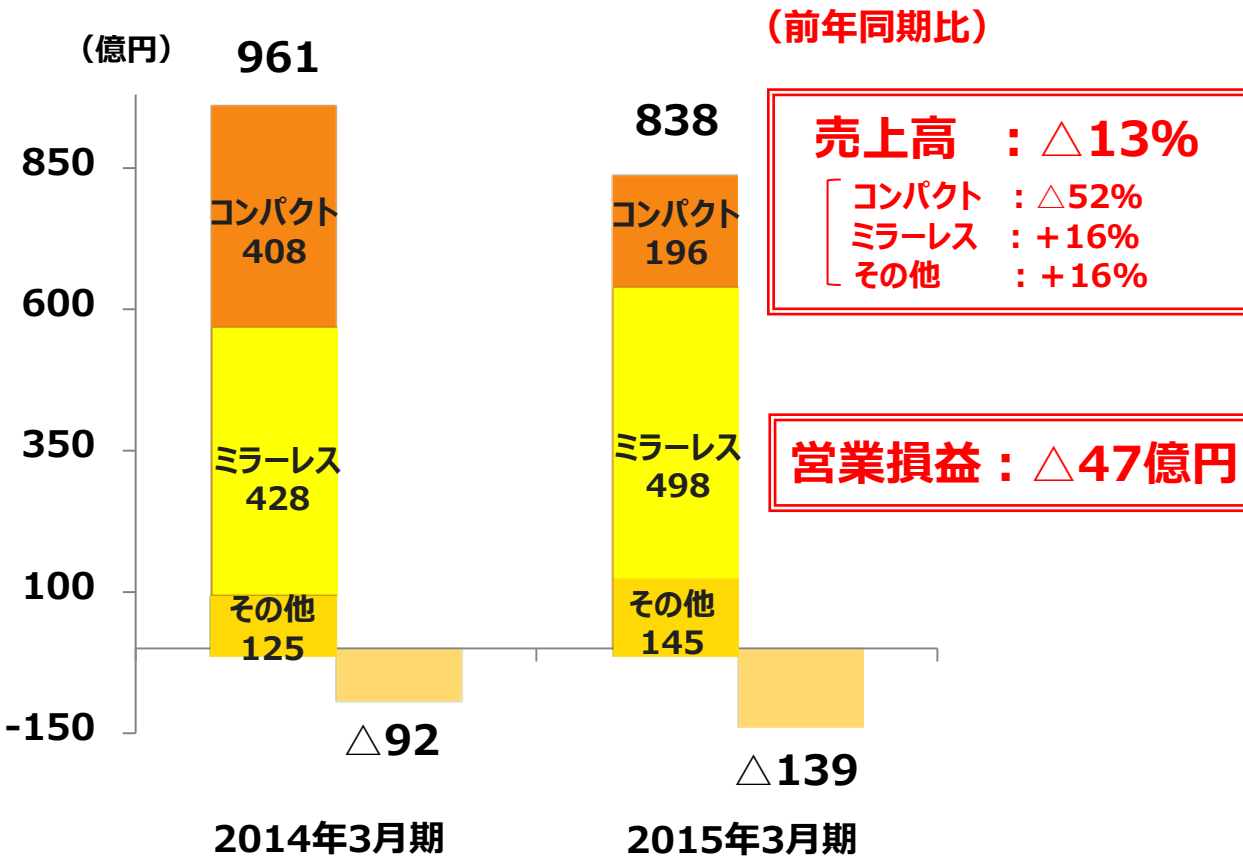
売上高 営業利益 営業利益率



【参考資料】 2015年3月期実績 映像事業

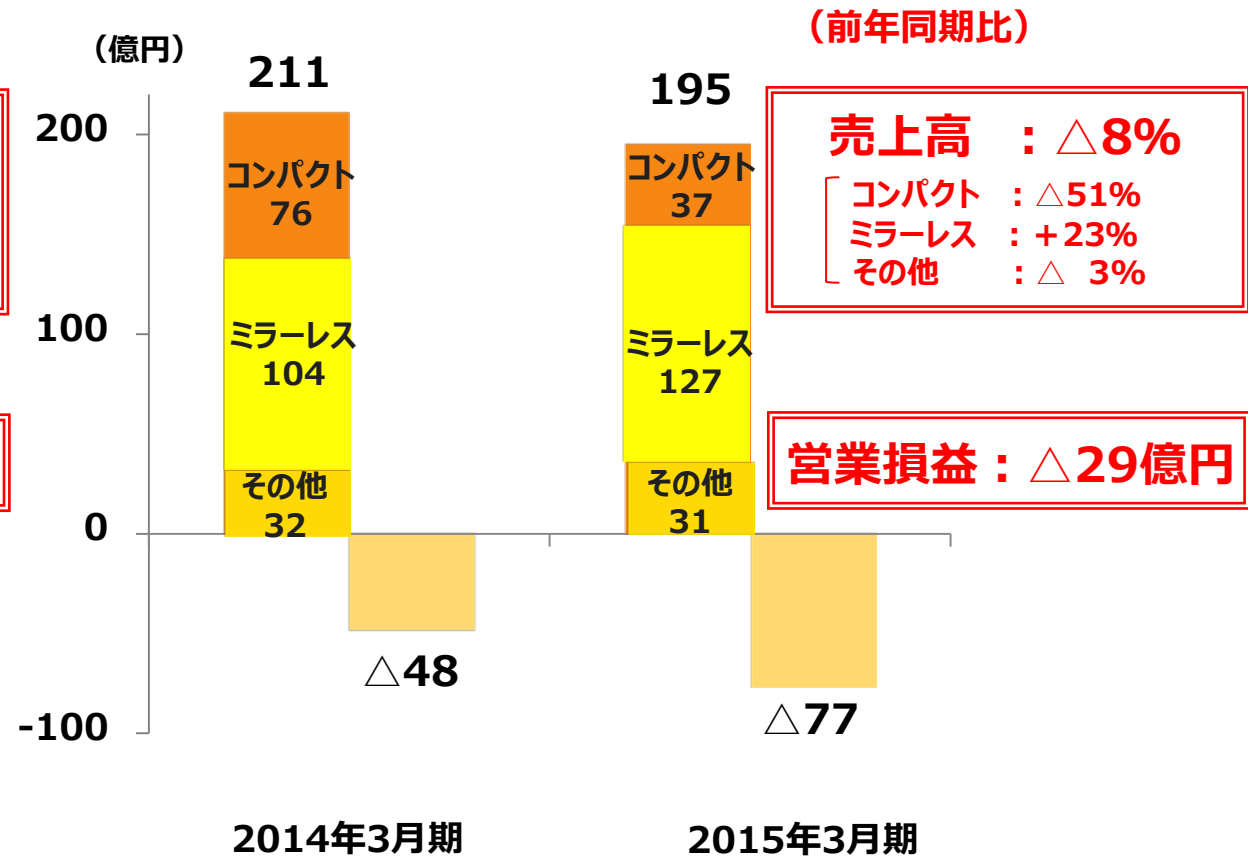
通期 (4-3月)

■ 売上高 ■ 営業損益



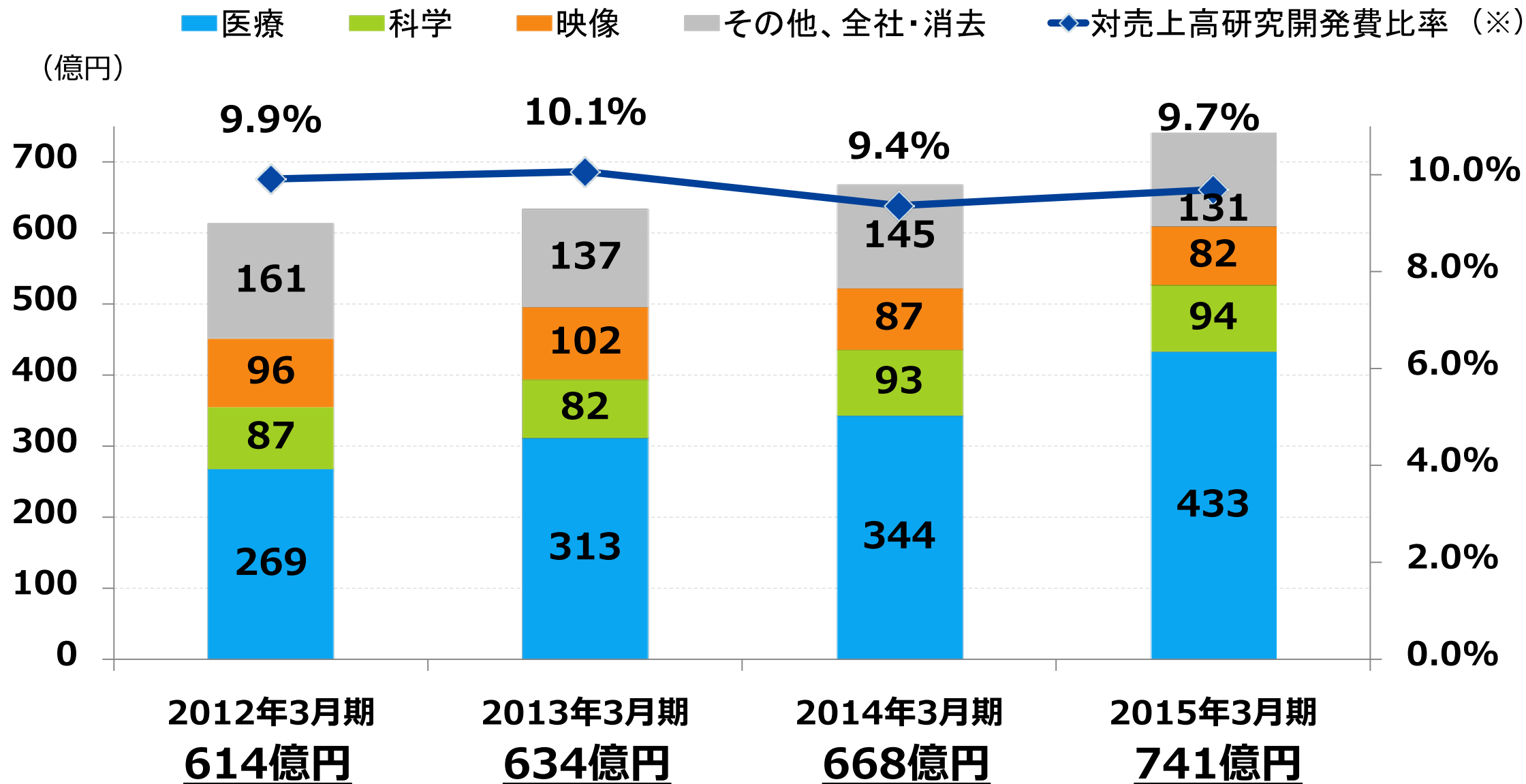
4Q (1-3月)

■ 売上高 ■ 営業損益

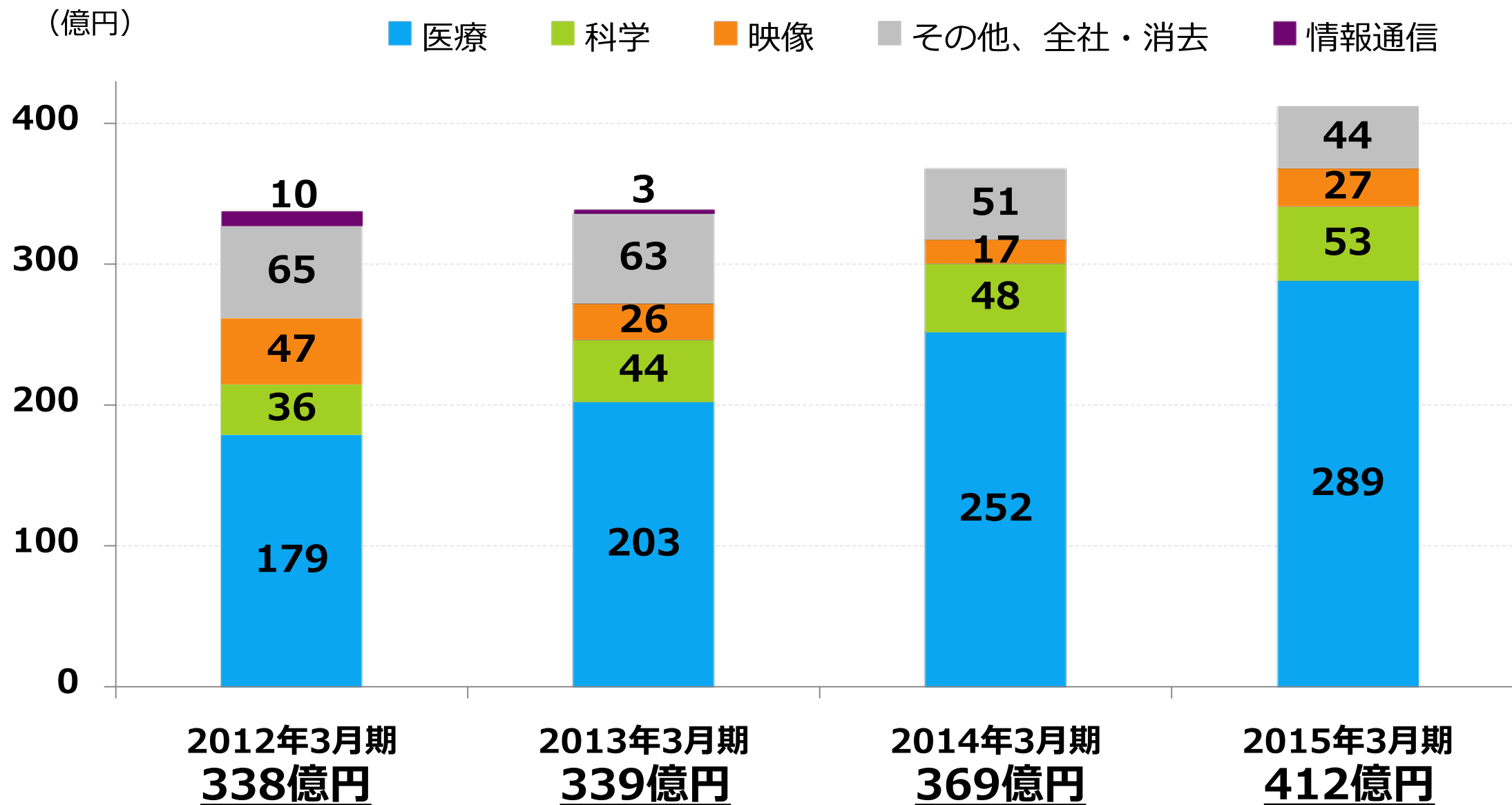


【参考資料】 研究開発費

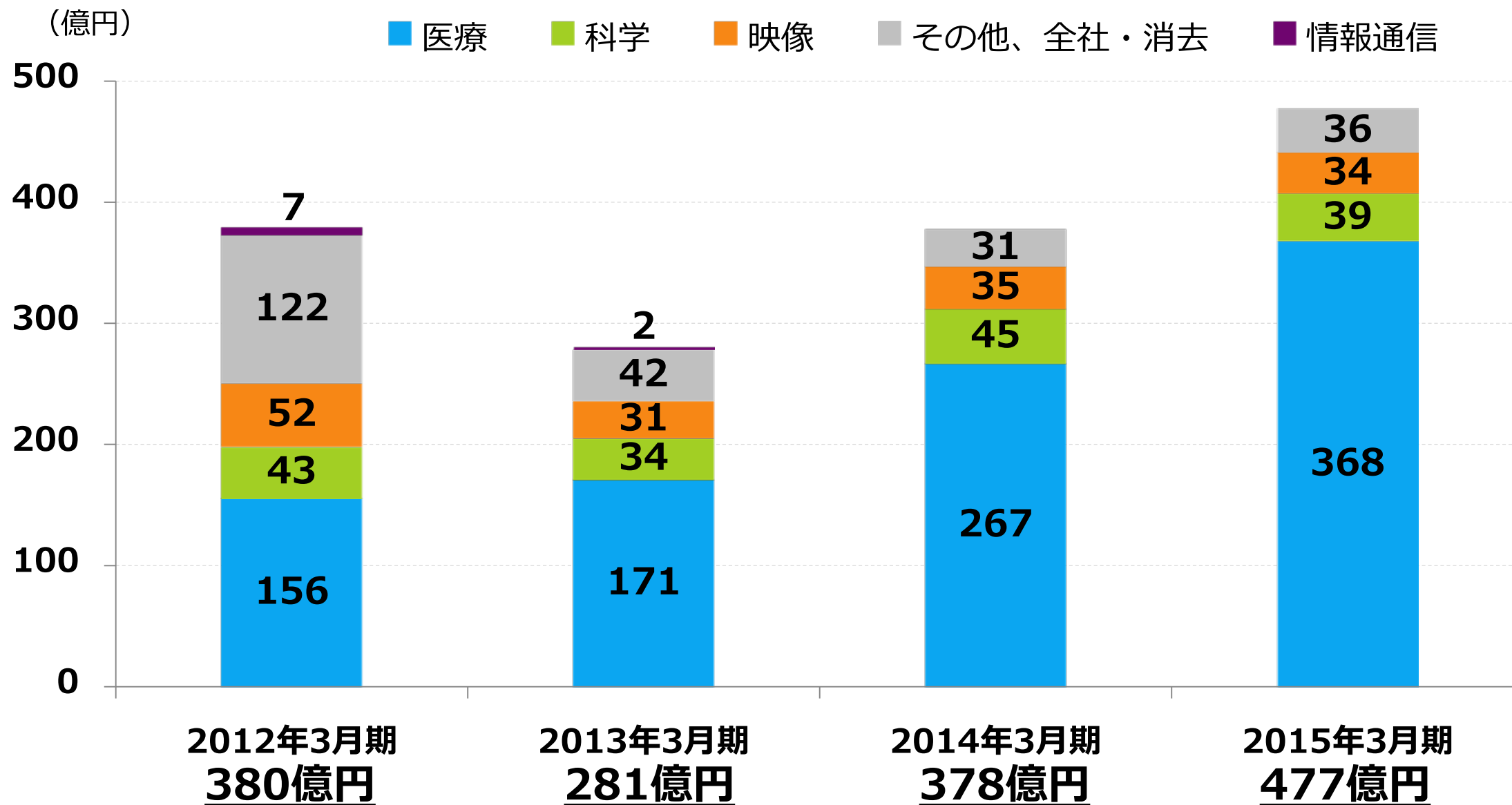
(※) 情報通信事業の売上高を除いた数値



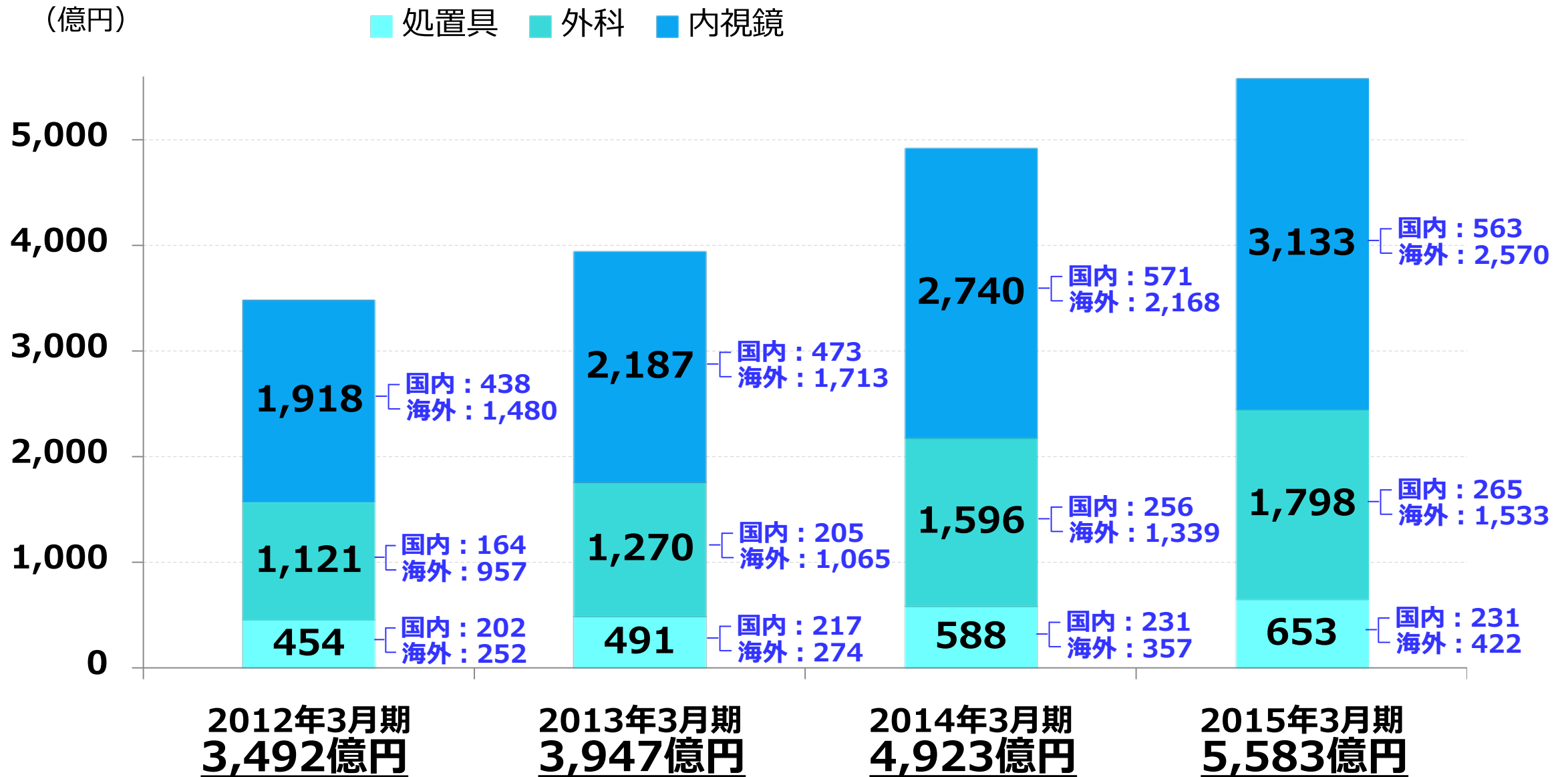
【参考資料】減価償却費



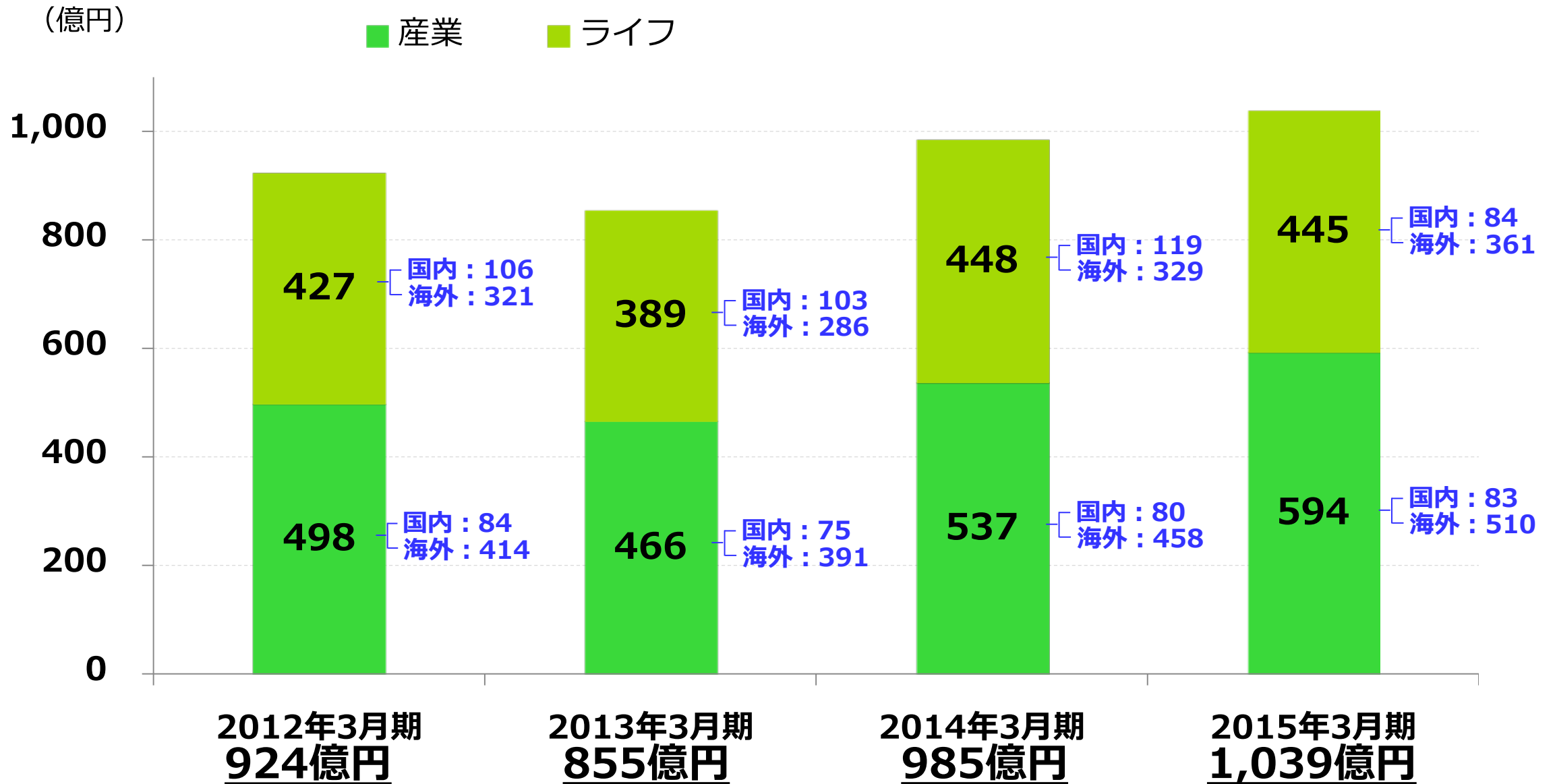
【参考資料】設備投資



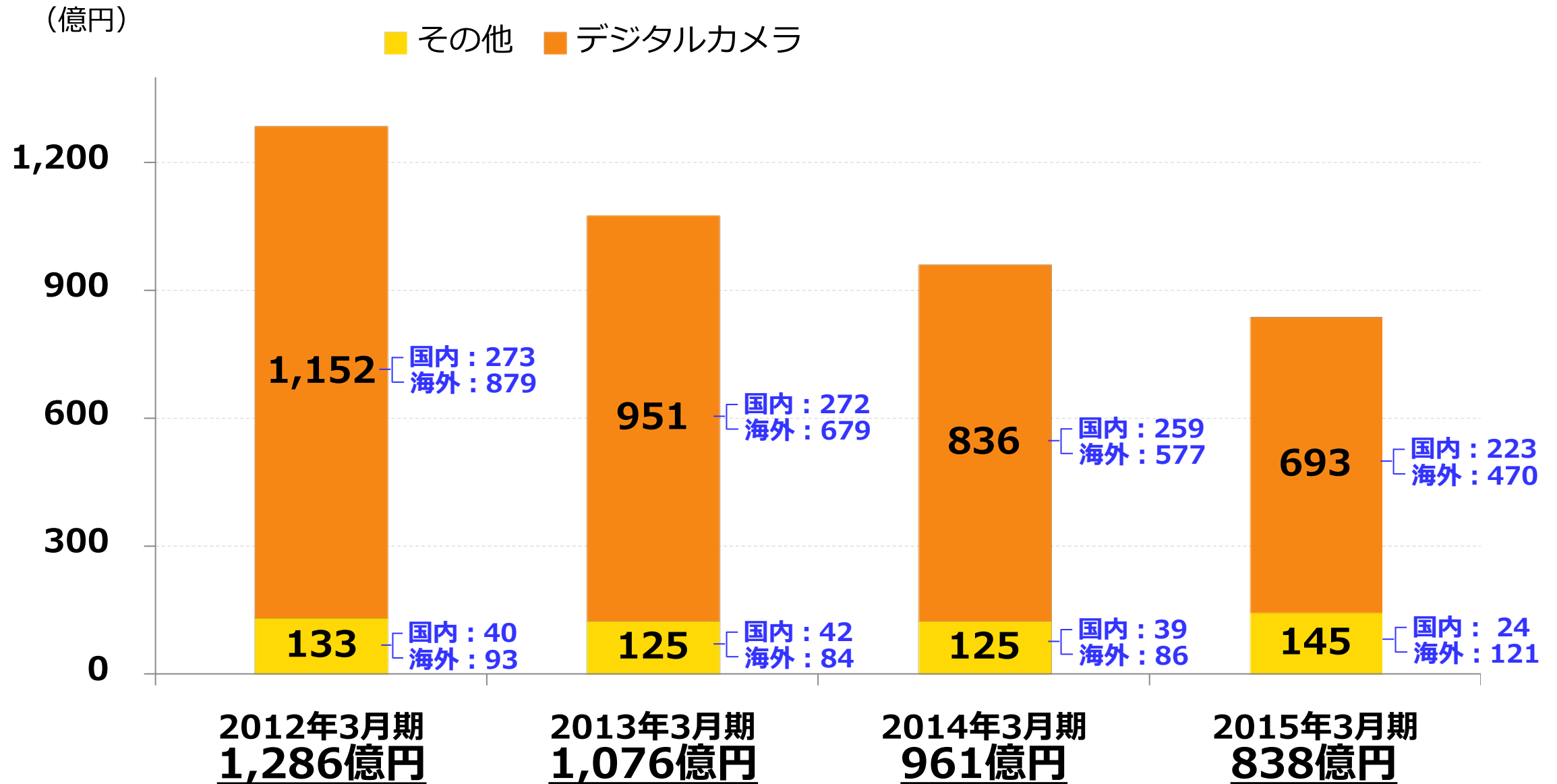
【参考資料】 分野別売上高 (医療)



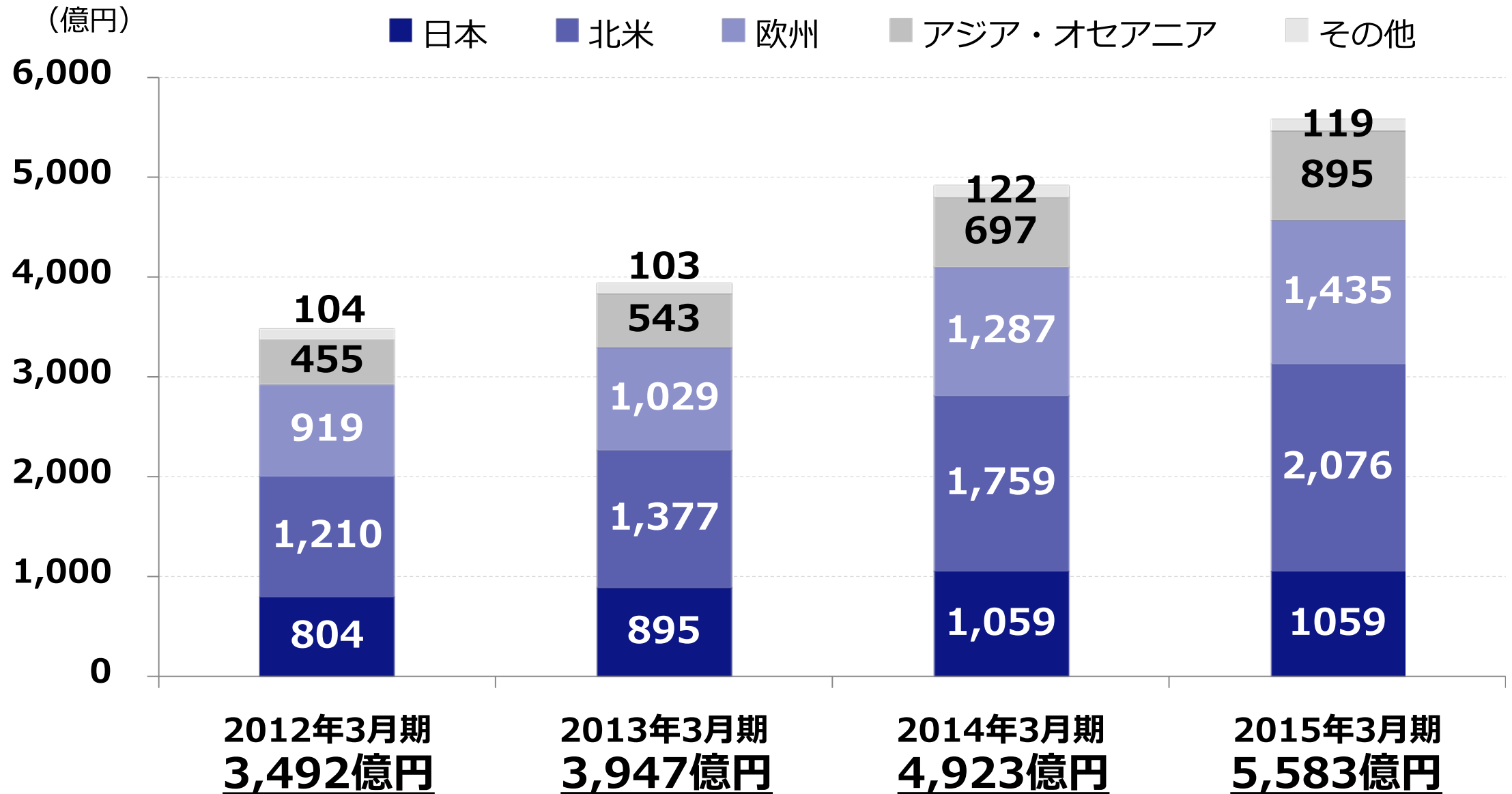
【参考資料】 分野別売上高 (科学)



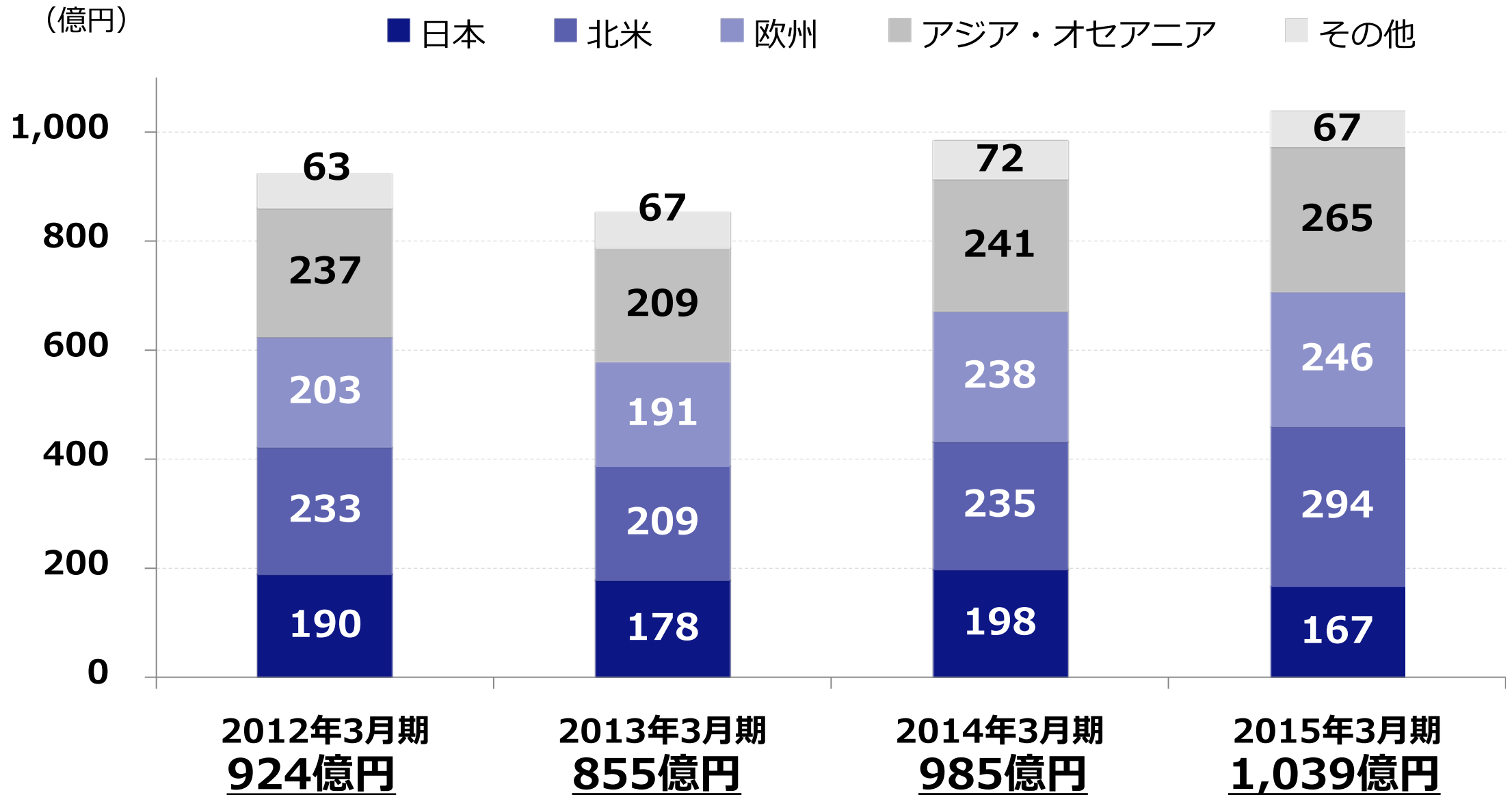
【参考資料】 分野別売上高 (映像)



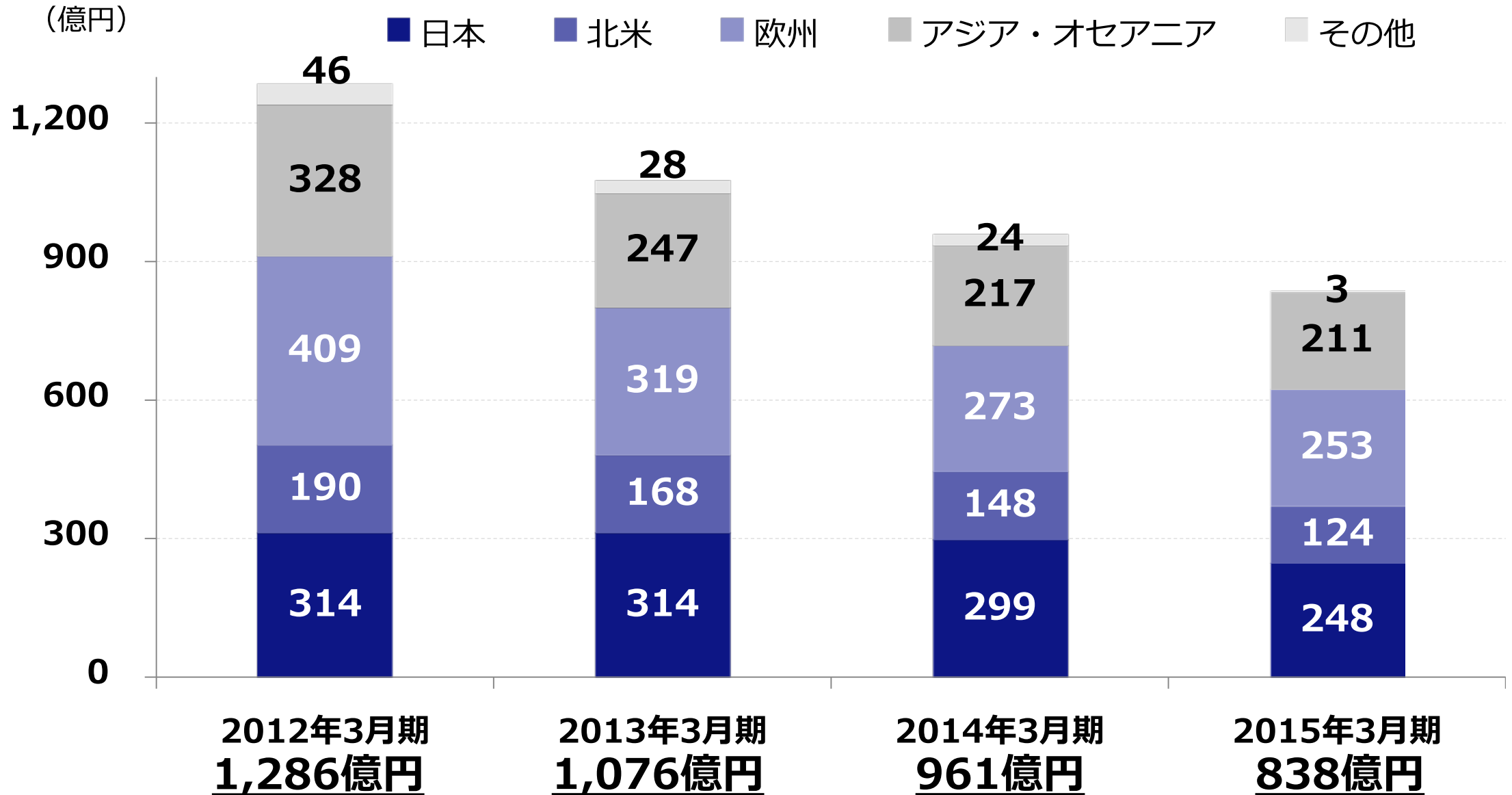
【参考資料】 地域別売上高 (医療)



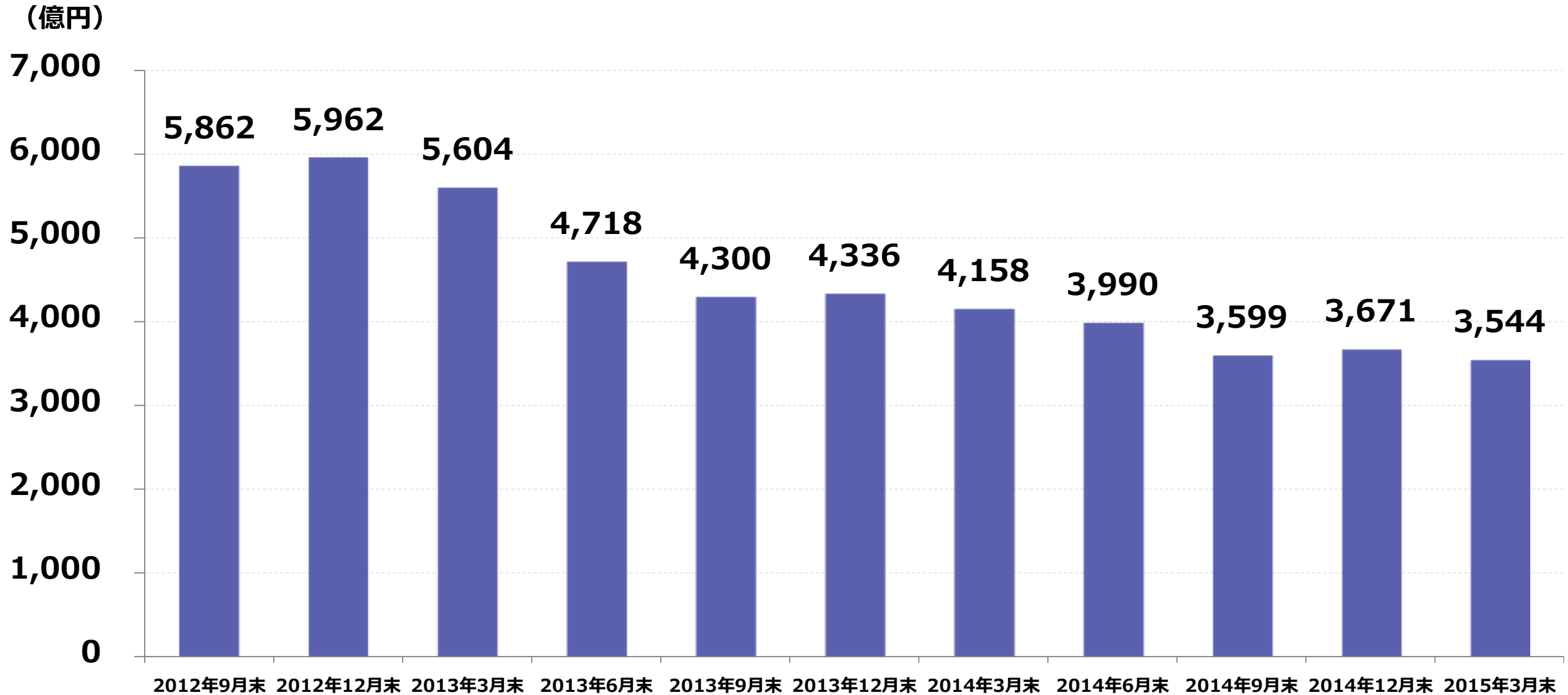
【参考資料】 地域別売上高 (科学)



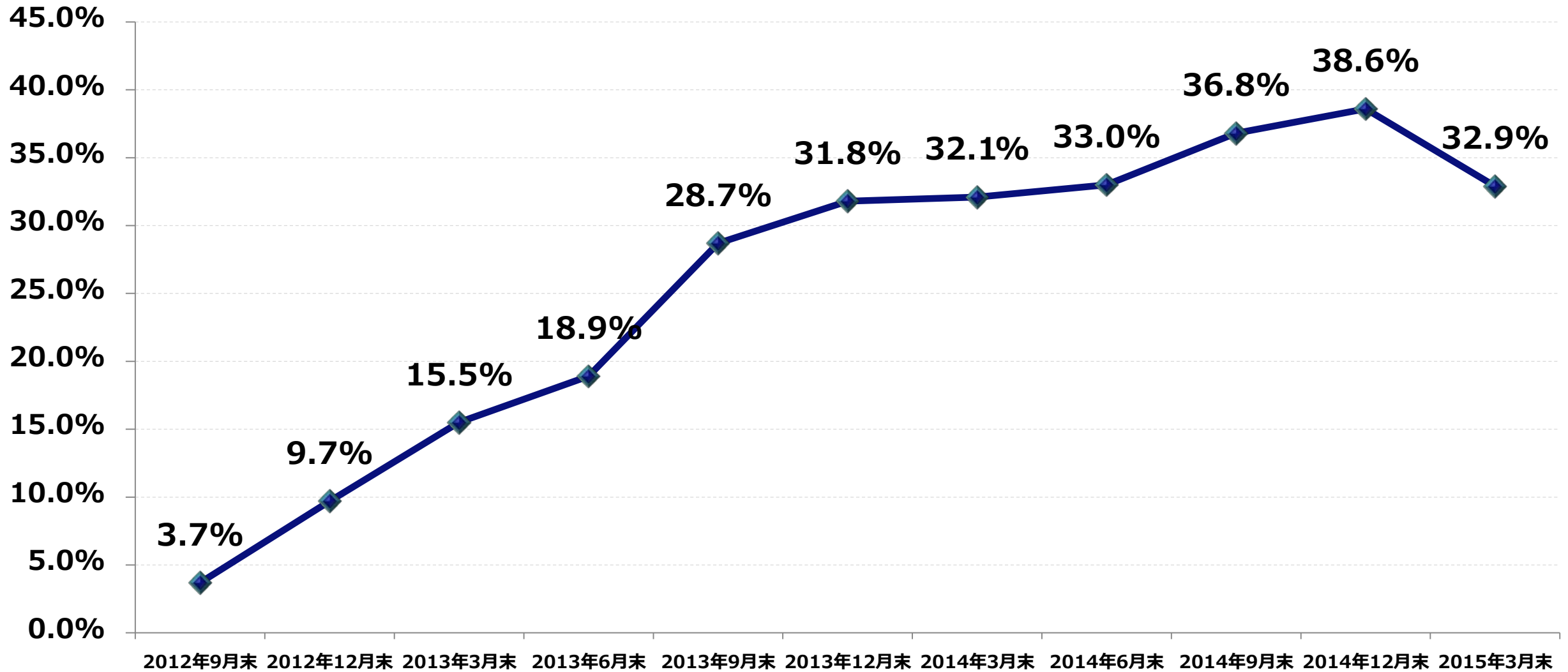
【参考資料】 地域別売上高 (映像)



【参考資料】 有利子負債



【参考資料】 自己資本比率





- 本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。